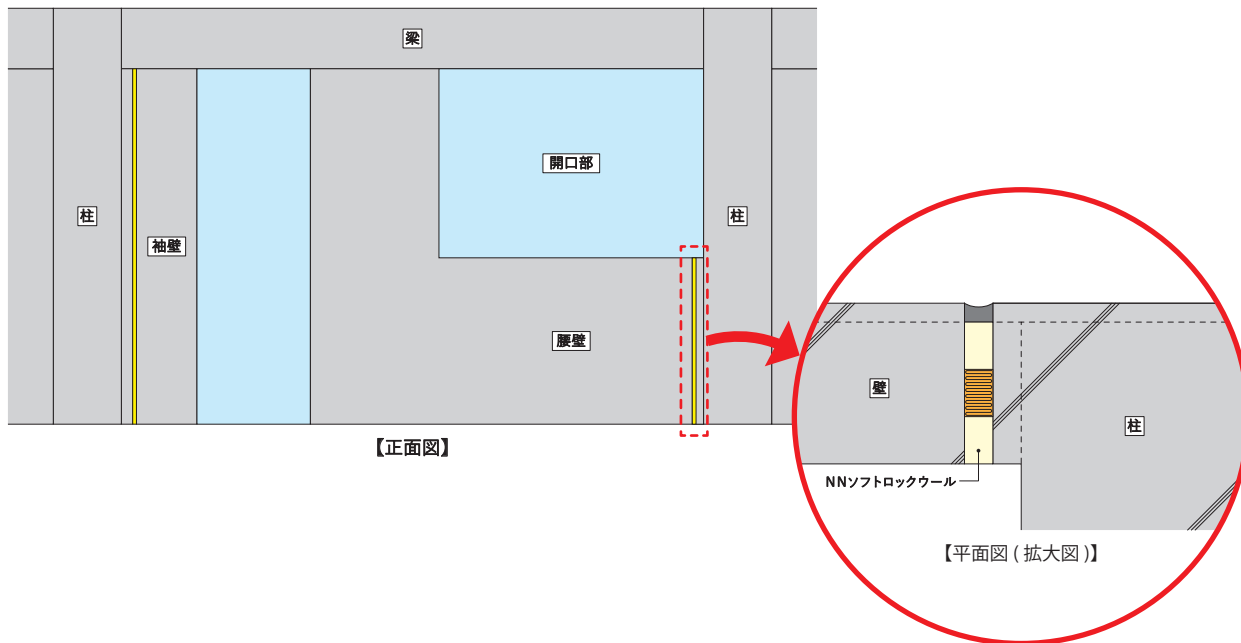


耐震設計法に基づく画期的な耐震改修耐火スリット工法

NNソフトロックウールは耐震改修工事において、既存建物にカッター工事等で柱際にスリットを設ける際に使用する挿入型スリットです。



製品概要

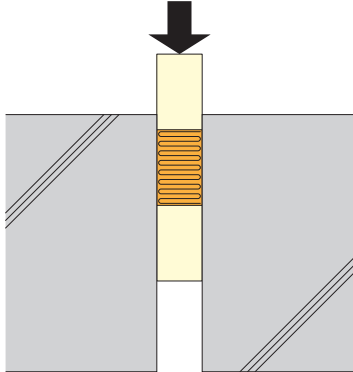
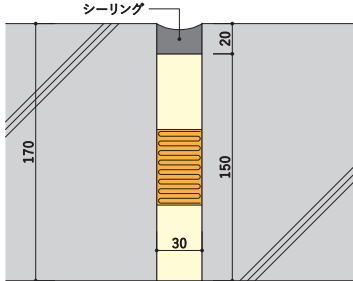
NNソフトロックウール	NNソフトロックウールプチルシート付	NNソフト
<p>スリット厚 製品寸法 50</p>	<p>スリット厚:30・35~60 スリット厚:40・50~75</p> <p>プチルシート (不織布付)</p> <p>スリット厚 製品寸法 50</p>	<p>スリット厚 製品寸法</p>

スリット厚 (mm)	30 ・ 35 ・ 40 ・ 50
製品寸法 (mm)	NNソフトロックウール・NNソフトロックウールプチルシート付:W80 ~ 250 / NNソフト:W30 ~ 250
定尺 (mm)	2,000

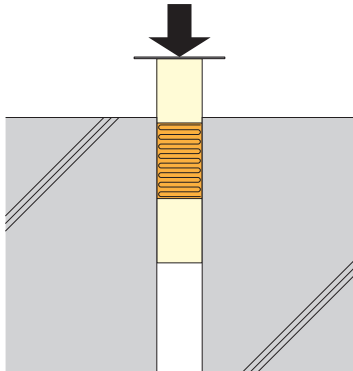
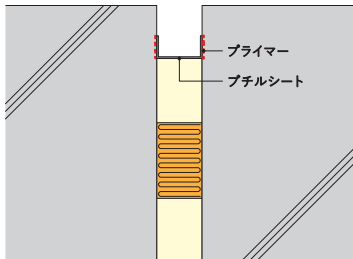
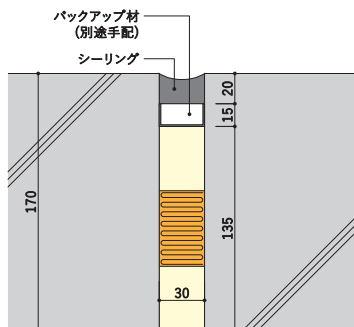
※表記寸法以外をご希望の場合はご相談ください。

取り付け手順

■NNソフトロックウール：(例) NN-30R × 150

1	 <ul style="list-style-type: none"> ・コア抜きをした後ウォルソーカッターで壁をカットし、コンクリートを取り除きます。 ・NNソフトロックウールを挿入します。
2	 <ul style="list-style-type: none"> ・外部側にシーリングを施します。

■NNソフトロックウールプチルシート付：(例) NN-30R(プチルシート付) × 135

1	 <ul style="list-style-type: none"> ・コア抜きをした後ウォルソーカッターで壁をカットし、コンクリートを取り除きます。 ・NNソフトロックウールプチルシート付を挿入します。
2	 <ul style="list-style-type: none"> ・プチルシートのコンクリート接着面にプライマーを塗った後、プチルシートのりけい紙を剥がして側面に固定します。
3	 <ul style="list-style-type: none"> ・プチルシートがコの字に開いたところにバックアップ材を貼り付けます。 ・外部側にシーリングを施します。

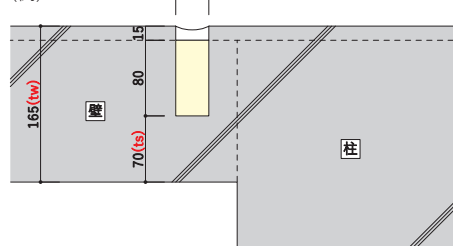
部分スリットとしてNNソフトを使用する場合

コンクリート厚70mmで1時間耐火となるため、壁厚140mm以上で残存壁厚が70mmあれば耐火スリットを入れる必要はありません。壁厚140mm未満の場合や残存壁厚を70mm未満にする場合は耐火スリットが必要となります。

【部分スリットの寸法定義】

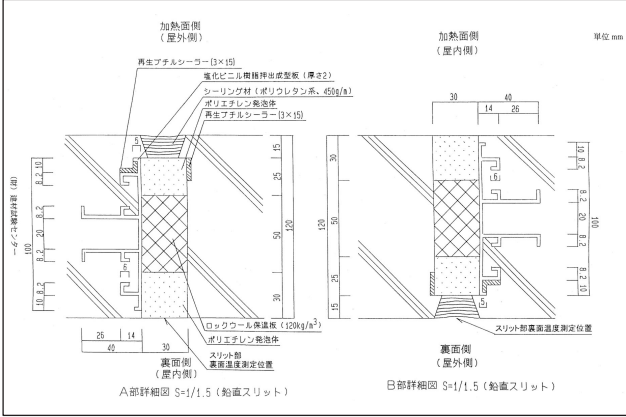
- ・残存壁厚(t_s)は壁厚(t_w)の1/2以下かつ70mm以下
- ・スリット厚(W)は $t_s \times 0.5 \sim 1$

(例) NN-35 × 80 35(W)



■試験内容

試験は、都市基盤整備公団(「集合住宅開口面の要求性能に対する検討委員会」～完全スリットの要求性能とその確認方法について～)における「7.品質判定基準と試験方法」に従って2時間耐火試験を行った。



■試験結果

- 裏面温度は最高温度及び平均温度、いずれも規定値を超えなかった。
(120分加熱時点では92°C)
- 加熱終了後、残炎は認められなかった。

試験体記号		A	B
		鉛直	鉛直
裏面温度(°C)	最高温度	スリット部 (規定値207°C) 124°C	132°C
		一般部 193°C	
	平均温度	スリット部 (規定値167°C) 117°C	126°C
		一般部 181°C	

※試験開始時のスリット部裏面温度は平均で27°C(初期温度)です。
 ※スリット部裏面温度は次式に適合することが認められた。
 最高温度(規定値) ≤ 180°C + 初期温度
 平均温度(規定値) ≤ 140°C + 初期温度

鉛直スリット部裏面温度測定結果

